



地域の明日を医療で支える  
地方独立行政法人  
長野県立病院機構  
長野県立阿南病院

第27号

2026年2月

# 地域とともに

和みの医療センター 阿南病院だより

Anan Hospital News

## 飯田広域消防 阿南消防署と連携し、地震想定総合防災訓練を実施しました



昨年10月30日、「東海地方で震度6強の地震が発生し下伊那地方も被害を受ける」という想定で総合防災訓練を実施しました。

地震発生後の災害本部の立ち上げ、救護ブースの設営、電子カルテ故障を想定した紙カルテ運用を実践しました。

阿南消防署救急隊と傷病者収容訓練を実施し、協定を締結している御供地区の皆様には、非常食炊出しにご協力いただきました。

今後も関係機関と連携し、防災対策に取り組んでまいります。



### [訓練の流れ]

15:00

訓練開始  
地震発生

15:20

阿南消防署から  
傷病者対応依頼

15:30

紙カルテ運用での  
傷病者受入決定

15:40

軽傷患者  
2名搬送

16:00

重傷患者  
1名搬送

16:30

訓練終了



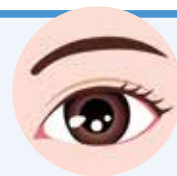
### 目次

- 令和7年度総合防災訓練…………… 1
- 目の健康・連携会議報告…………… 2
- ACPの取り組み…………… 3
- 外来診療担当表…………… 4

### 阿南病院基本理念

- 私たちは、地域の中核病院として、質の高い適正な医療を提供します。
- 私たちは、患者さんの人権を尊重し、明るく、やさしさと思いやりのある医療を提供します。
- 私たちは、地域の保健・医療・福祉機関との連携のもと地域に根ざした医療を提供します。

# 大切な「目」の健康を守るために



## 「光」で調べる目の病気

当院では県下でも珍しく、人間ドックのオプション検査として光干渉断層計(Optical Coherence Tomography:以下OCT)を取り入れ、今年で6年目となります。OCTでは近赤外線を利用して目の網膜を輪切りのように詳しく観察します。体への負担も少なく、短時間で何度も鮮明な撮影ができ、網膜の様々な病気、特に失明原因のトップである緑内障や、加齢黄斑変性を早期に発見することができます。

### 緑 内 障

～失明原因 1 位の病気～

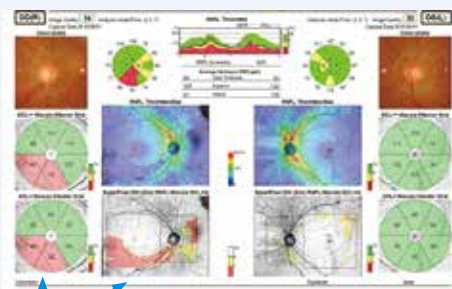
有病率 40才代で 20人に1人  
70才代で10人に1人  
症 状 初期には自覚症状がほとんど無く進行するにつれ視野が欠けていく。  
OCT 通常の眼圧・眼底検査では見つけれない、自覚症状の無い早期に発見可能。

### 加齢黄斑変性

～視界の歪みや視力低下の原因に～

有病率 50才代で100人に1人(失明原因4位)  
症 状 網膜の中心に異常な血管が形成され出血やむくみをきたし、視野の中心から徐々に景色が歪んでいき、視力が損なわれる。  
OCT 他の黄斑部の病気と区別をつけることも可能。

OCT 画像：黄斑部と視神経乳頭画像を同時に撮影



右眼（ピンクの部分）は緑内障変化あり

## 検査で異常が見つかったら

当院でのドックOCTを受けた方で、241名中102名の方に異常の疑い(うち、緑内障疑い25眼、加齢黄斑変性疑い22眼)が見つかりました。

病気の診断にはOCTに加えて、医師の総合的な判断が必要ですが、緑内障も加齢黄斑変性も早期に発見できれば治療により進行を抑えて、失明を防ぐことができます。

検査を受けていただき、異常が見つかったら、ぜひ早めに受診して目の健康を守りましょう。

## 第 2 回地域医療福祉連携会議「在宅と阿南病院をつなぐ会」を開催しました

下伊那南部地域の保健・医療・福祉の連携強化をめざして、11月7日、今年度2回目の会議を開催しました。

皆さん、地域のかかりつけ薬局がご自宅にお薬を届けてくれたり、お薬の相談に乗ってくれたりするのをご存じですか？今回、連携強化を試みたのは「在宅支援 × かかりつけ薬局」です。近隣の3薬局、高齢者の在宅介護を支える14の事業所等から参加したケアマネージャーや保健師、阿南病院が意見を交わしました。

ひさわ薬局（下條村）あなん薬局（阿南町）日本調剤北條薬局（阿南町）の薬剤師さんにこんなことを語っていただきました。

- ・患者さんが立ち寄り、相談しやすい環境づくり
- ・自治体や福祉施設との連携事例紹介
- ・訪問先の暮らしに沿った支援の在り方
- ・どの程度の距離、月に何人まで対応できるか？



ご自身でのお薬の管理が難しくなってきた方は、ご家族やヘルパーさんの力を借りているケースも増えています。「かかりつけ薬局が対応できるサービスについて、在宅介護を担う皆さんに広く知っていただき、潜在的な課題の共有と在宅ケアの質向上を」との呼びかけがありました。

### 参加者の声

- ・患者さんのケアをしていて、服薬指導等のサービスが必要だと思っても、ご本人から“できている”と言われると、それ以上介入できない。薬剤師が訪問することで、適切なサービス開始に繋げることが期待できる。今後も積極的に訪問を行ってほしい。
- ・薬剤師訪問は“お薬を適切に飲むためのもの”という認識だったが、多職種と連携することで、在宅ケアの質が向上し得る、との認識が変わった。

この連携会議は今年度、もう1回開催する予定です。



## 意思決定を支えるために～「ACPとともに学ぶチーム」を発足しました～

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）という言葉をご存じですか。「人生会議」とも呼ばれます。

人生最後の時…どんな医療やケアを望み、どのような生き方を望まれますか？考え方は人それぞれですが、**大切なのは肝心なときに備えて日頃から考え、その思いを周囲に伝えておくこと。考えたこと、話し合ったことは心境の変化などに伴い、いつでも変えて構いません。考え、伝えることを何度も繰り返す過程が大切です。**

医療の現場でも、本人・家族が急な決断を迫られる前に、関係者と適切に情報を共有し、ともに方針を考える「意思決定支援」の在り方が重要になってきています。

阿南病院でも今年度より、医療スタッフがガイドラインに基づいたACPの考え方や実践方法を学び、地域の皆さんと連携しながらACPを広めていく取り組みを開始しました。



6月 特別養護老人ホーム遠山荘  
出前講座

### 阿南病院の取り組み

特別養護老人ホーム 遠山荘では、平成30年から毎年スタッフ・ご家族向けの研修会を開催しています。入所者が急病で入院した際、ご家族から「研修会での学びをもとに、もしもの時のことをあらかじめ考えていたので、落ち着いて本人の意向を医療スタッフに伝えられた」と病院職員に対してお話があり、施設からも「毎年同じ内容の研修を着実に繰り返すことで、スタッフもご家族もACPへの理解が深まっている」との感想をいただいています。



9月 研修会  
飯田短期大学 矢澤 玲子 教授

#### 〔病院職員と地域の関係者向け研修会を開催しました〕

矢澤先生からは『意思決定支援 今自分にできることは何？～毎日がACP～』と題し、先生ご自身の体験談や、ACPの歴史、支援をする上での大切なポイントである「対象者と医療・福祉関係者、家族がともにおこなうこと」「ACPは強制されない、自発的なものであること」や、「今は考えたくない、答えを出したくない…といった選択肢も意識すること」についてお話いただきました。

渡辺先生からは『高齢者の尊厳と意思決定支援』と題し、老年看護学分野の調査研究結果を踏まえ、「日常ケアの中で、高齢者の意思決定時の主体性は尊重されているか？」「“尊厳を守るケア”を目指した職場づくりとは」といった視点でお話いただきました。

参加者からは「自身の日頃の実践を振り返る機会となった」「組織内にどのように広めるかが今後の課題」といった感想が寄せられました。



12月 研修会  
長野県看護大学 渡辺 みどり 教授

阿南町主催のシニア講座は、富草・大下条・新野の3か所で開催されました。話し合いの大きなテーマは「もしも余命1年と言われたら、何をしたいか」ですが、なかなか想像しづらいところがあります。そこで地域包括支援センターの職員とともに当院の職員がファシリテーター（話し合いの円滑な進行を助ける役目）として加わり、「好きな食べ物は？」「大切にしていることは？」といった身近な話題から話し合いを重ねました。

参加者からは「話す機会を増やしたい」「これからを考えるきっかけとなった」といった声が聞かれました。

参加した病院職員からも「話しやすい流れづくりや効果的な介入方法について工夫が必要」「地域にACPが定着するには、こういった場を継続していけると良いと思う」といった感想が寄せられました。



10月～12月 阿南町シニア講座

来年度も引き続き、チームとして取り組んで参ります。



◀厚生労働省  
ページ  
「人生会議」  
してみませんか



◀阿南病院  
出前講座  
ページ



阿南高校出前講座（薬剤師）

## ご寄附の御礼申し上げます

当院に入院されていた患者さんのご家族の方から、阿南病院の設備充実のためのご寄附をいただきました。

温かなご支援、誠にありがとうございました。

神奈川県藤沢市

山崎 公江 様

静岡県浜松市

熊谷 憲輝 様



## ひとコマ



### 院内情報交換会

11月6日に開催しました。診療部、リハビリテーション部門から日頃の研究・業務効率化等の発表がありました。



### 老健レクリエーション

12月24日にクリスマスイベントを開催しました。皆さんプレゼント交換などを楽しめました。

## 小児科からのお知らせ

小児科は午後の診療予約もお受けできますので、ご来院前にお電話でご相談ください。  
(水曜日除く)



## 長野県立阿南病院 外来担当医師

2025年9月1日～

診療科	曜日	月	火	水	木	金	備考
内科		田 中 関 桃 崎孝	田 中 (第2・4) 伊 東 関	伊 東 桃 崎さ	伊 東 桃 崎孝 富 田	関 桃 崎さ 池 田	診療予約あり
小児科		片 桐	片 桐	片 桐	片 桐	片 桐	●毎月第1日曜日時間外対応あり ●水曜日午後予防接種(予約制) TEL 22-2121 予約の電話は午前11時30分～12時30分
外科		吉 田 (隔週) 飯田市立医師 (隔週)	吉 田		吉 田 (隔週) 飯田市立医師 (隔週)	吉 田	診療予約あり
救急外来			信州大学医師(月4回)				科を問わず診療します
整形外科		信州大学医師 (第1)	信州大学医師			愛知医科大学医師 信州大学医師 (第1・3)	診療予約あり 愛知医科大学医師 午前10時から診療
泌尿器科				愛知医科大学医師 (第1・3) 飯田市立医師 (第2・4)			診療予約あり(診療午後) 受付時間午後3時まで 飯田市立医師 午前9時から診療
眼科		小 紫	小 紫	小 紫	小 紫	小 紫	手術日・検査日は休診
精神科		こころの医療センター 駒ヶ根医師(第2・4)				吉 田	
小児・思春期外来		神 庭(第3)					予約制
婦人科						橘 (第1・3・5)	午前10時から診療 予約制

診療受付時間 8:30～11:30

医師の都合により診療時間が変更となる場合がありますので、できるだけ電話予約をお願いします。

予約をする際や予約日時の変更は、13:00～16:00の間に電話でご連絡ください。



Nagano Prefectural Anan Hospital

地方独立行政法人  
長野県立病院機構

長野県立

和みの医療センター

阿南病院

〒399-1501

長野県下伊那郡阿南町北條2009-1

TEL: 0260-22-2121 (代表)

FAX: 0260-31-1014

Mail: anan@pref-nagano-hosp.jp